

「令和 6 年度 県南地区高等学校 PTA 連絡協議会 評議員会」に参加して

5 月 24 日（金）、棚谷副校長、PTA 松本・彦野が参加しました。いくつかの議題についてピックアップして報告します。

・令和 5 年度決算報告

収入額 2,096,528 円、支出 1,503,877 円、差引残額 592,651 円（次年度へ繰越）で、前年比 7,472 円減でした。本校からの負担金は、生徒一人あたり 40 円×931 人で、合計 37,240 円でした。

・令和 6 年度事業計画（案）

8 月 22・23 日に茨城県において全国高等学校 PTA 連合会大会が開催され、当番校の負担が重いため、例年 9 月に開催されている県南 PTA 指導者研修会は中止とのことでした。

・令和 6 年度予算（案）

予算額 1,379,000 円で、前年比 725,000 円減でした。これは繰越金が 1,312,939 円から 592,651 円へ大幅に減ったためです。減額分は雑費の予算を減らすことで対応するとのことでした。

・令和 6 年度県南地区の県・関東地区大会における当番校の確認（案）

県南 PTA 指導者研修会について、本校は令和 9 年度の担当を予定しています。

・講演会「夢を掴む一手」野口啓代さん（東京オリンピックスポーツクライミング女子複合銅メダリスト）

野口啓代さんは龍ヶ崎市出身。小学校 5 年生からスポーツクライミングを始め、その後は順調な競技人生を歩み、大学生の時にはワールドカップで 1 位になりました。しかし、26 歳の時にケガをしたことと、スポーツクライミングをオリンピック競技にすることに関わったことで、競技人生が変わりました。その後は、トレーナーやコーチなどのサポートを受けて、自分の伸びしろを伸ばすように努力しました。その結果、東京オリンピックでは、日の丸を背負うというプレッシャーのもと、銅メダルを獲得しました。現在は引退し、スポーツクライミングの普及・広報やコーチングなどに携わっています。講演後の質疑応答では、本校の棚谷副校長からの質問に対して、「初心者、部活、競技者など、相手の求めるレベルに合わせてコーチングすることが必要」と答えられました。ケガというネガティブな出来事が野口さんを大きくしたように見え、私たちを勇気づけるお話でした。